2026年10月23日
日本管財ホールディングス株式会社

日本管財ホールディングス株式会社

誰もがコミュニケーションを取れるような職場へ
日本管財環境サービスの日野事業所が社内研修「手話講座」を開催
～社員の想いから生まれた研修に、約40名が参加～

日本管財ホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：福田 慎太郎、以下「当社」）のグループ会社で、環境施設管理事業を行う株式会社日本管財環境サービス（本社：大阪府大阪市、代表取締役：若松 雅弘）は、2026年9月28日（月）に日野事業所の全従業員を対象とした、「手話講座」を開催しました。

同事業所（日野市リサイクルセンター）では、聴覚に障がいのある従業員が手選別業務にあたっていることから、「職場のみんなに手話で気軽にコミュニケーションを取ってほしい」という想いで企画したもので、同事業所では初めての取り組みです。





研修内容と当日の様子

今回の研修は、日常的に手話を学んでいる企画担当者の発案で行い、同事業所の全従業員約40名が参加しました。

講師には、日野市聴覚障害者協会に所属し、手話講師として活動されている堀場 照美氏をお招きしました。

堀場氏からは、日頃から心がけている工夫として、手話とあわせて表情でも気持ちを伝えるようにしていることや、サイレンなどが聞こえないため、周囲の様子や人の動きを常によく見ていることなどについて、研修いただきました。



講師：堀場 照美氏

研修内容

プログラム	内容
聴覚障がいについて知る	・聴覚に障がいのある方が困っていること （外見では気づかれにくい、音声の案内が聞こえないなど） ・声をかけるときの注意点、さまざまなコミュニケーション方法 （手話・筆談・音声認識アプリなど）
手話体験	「ありがとう」「お疲れさま」「わかりました」「休憩時間です」「リサイクル」「プラスチック」など計27項目の手話を体験

企画担当者からの感想

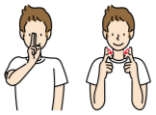
参加した方々が熱心に取り組んでくれて、企画した立場としてとても嬉しく思いました。手話体験では、日常的な挨拶から環境施設で働く私たちがよく使う「アルミ」や「プラスチック」といった言葉も教わりました。仕事でよく使う言葉なので、業務中も手話で会話するきっかけになると期待しながら、これまで以上に会話が増えることを楽しみにしています！



手話体験の様子

■手話体験

こんにちは



ありがとう



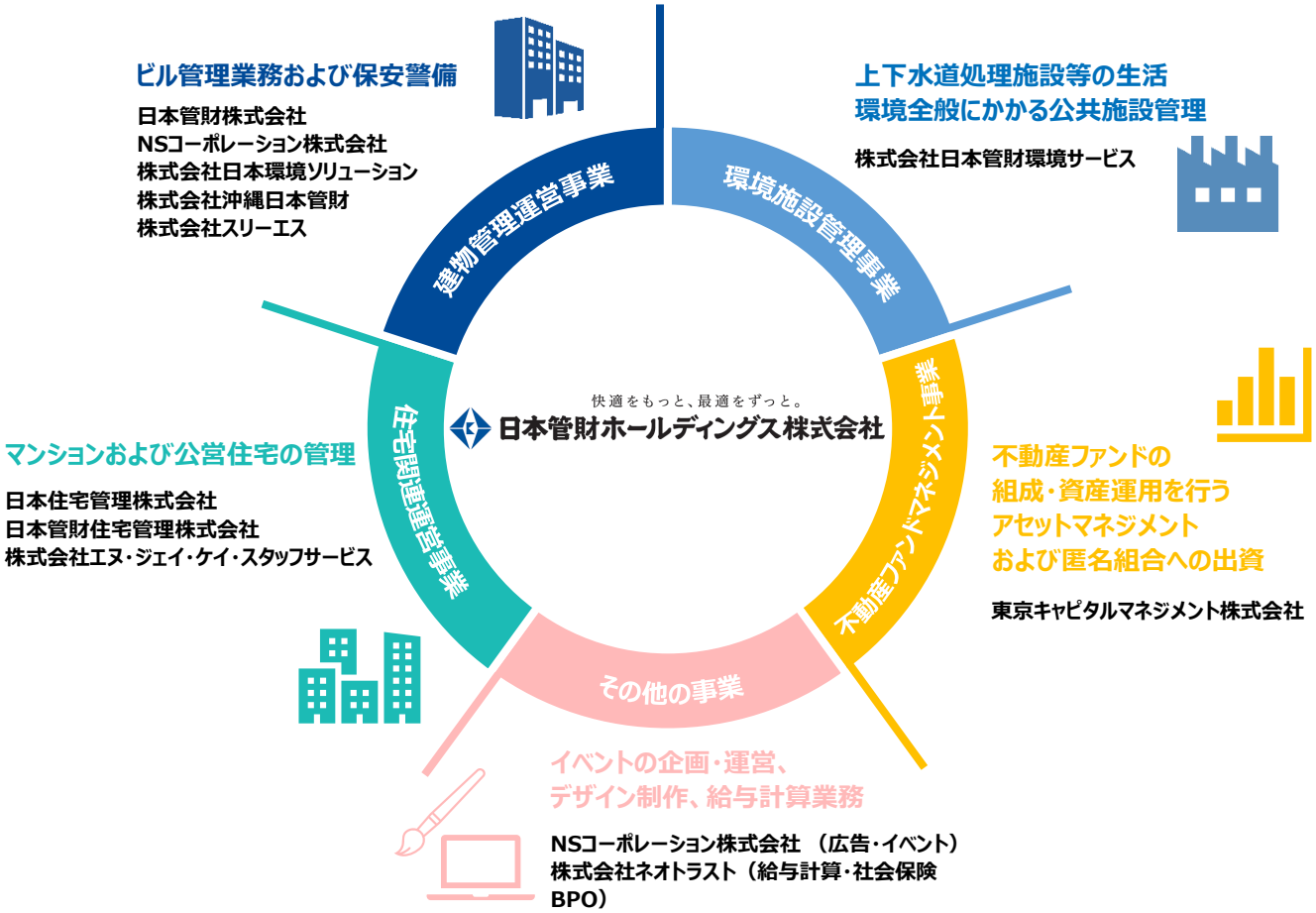
2026年10月23日
日本管財ホールディングス株式会社

日本管財ホールディングス株式会社

日本管財グループについて

日本管財グループは1965年に設立し、現在は国内および海外で建物管理運営事業、環境施設管理事業、住宅関連運営事業、不動産ファンドマネジメント事業等を展開しています。独立系であることを強みに、オフィスビル、商業施設、ホテル、教育機関、公共施設等、幅広い用途に携わっています。

日本管財ホールディングス株式会社は持株会社として2023年に設立し、グループ経営機能に特化しています。



会社概要

社　名　：日本管財ホールディングス株式会社
所在地　：東京都中央区日本橋2丁目1番10号
設　立　：2023年4月3日
代表者　：代表取締役社長　福田 慎太郎
資本金　：3,000百万円
事業内容：オフィスビル、集合住宅、環境施設等の管理運営事業や不動産ファンドマネジメント事業等を営むグループ会社の経営管理およびこれに附帯又は関連する業務
ＵＲＬ　：https://www.nkanzaihd.co.jp/